

7月は愛の血液助け合い運動月間

安全な血液の安定確保のため、献血に協力ください

◎問い合わせ 日本赤十字社宮崎県支部
都城市地区事務局(福祉課内) ☎23-2980

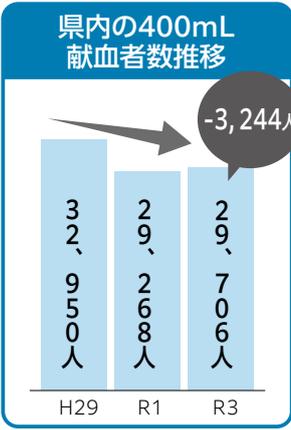


献血は身近なボランティア

病気の治療や手術などで輸血を必要としている人に、健康な人の血液を提供することで、命をつなぐ献血。国内では、1日当たり約3千人が輸血を受けているといわれています。血液は、人工的に造ることや長期保存ができません。このため、日本赤十字社が中心となって、血液提供のボランティアとも言える「献血」を皆さんに呼び掛けている。

若い世代への呼び掛け

献血をする人は年々減少。特に40歳以上の献血者が減少しています。このため、社会をこれから支える若い世代への普及啓発に力を入れています。



新型コロナウイルス 感染防止も万全

仮に緊急事態宣言が発令されたとしても、輸血医療に使用する血液を確保するため、献血への協力は不要不急の外出には当たりません。また、献血会場は、安全対策を徹底している、安心して献血できる衛生環境をつくっています。

献血に協力ください

献血は、常設会場の献血ルーム(カリノ宮崎・宮崎市橘通東四丁目8-1)のほか、県内を巡回する献血バスで実施しています。ぜひ協力ください。

献血バスの運行スケジュール

日時や会場などは、宮崎県赤十字血液センターのホームページを確認ください。

☎0985-5011800



7月28日は世界肝炎デー

肝炎ウイルス検診を受けて、早期発見・早期治療！

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765



一生に一度は肝炎ウイルス検診を受けましょう

早期発見のためには検診を受けることが大切です。また、肝炎に感染していても、早期治療で重症化を防ぐことができます。市では、節目年齢に到達する人を対象に無料検診を実施しています。今年度の対象者には、クーポン券(黄色のはがき)を送付しています。

●対象 40・45・50・55・60・65・70歳に到達する人で、今までに肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

●検診場所 市・三股町の指定医療機関(クーポン券に記載)

●検診内容 血液検査

●利用期限 令和5年2月28日

●その他 受診の際には、必ずクーポン券と保険証を持参。クーポン券を紛失した場合は再発行します

ウイルス性肝炎ってどんな病気？

肝炎は、肝臓の細胞が破壊され、肝臓に炎症が起きる病気です。日本では、ウイルス性肝炎が大半を占め、特にB型・C型肝炎ウイルスは感染者数が250万人以上にのぼる国内最大の感染症といわれています。

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、熱や痛みなどの症状はほとんどなく、気付かないうちに肝硬変や肝がんになることがあります。

感染しないために

感染を防ぐため、他人の血液に触れないようにしましょう。なお、握手やくしゃみ、食器、風呂、トイレの共用で感染することはありません。